

# 月刊 グラフィックサービス

## No.862 2023 09

ジャグラ作品展  
経済産業大臣賞  
株式会社野毛印刷社



東京玉子本舗様  
クリスマスギフトBOX



株式会社野毛印刷社  
営業部 主任  
本橋 彩子 さん

株式会社野毛印刷社  
営業部  
前園 香寿美 さん

株式会社野毛印刷社  
営業部  
木下 夏穂 さん

株式会社野毛印刷社  
営業部  
蛭目 剛史 さん

株式会社野毛印刷社  
営業部 係長  
藤原 亮 さん

株式会社野毛印刷社  
営業部 次長  
田中 利樹 さん

### ■ 巻頭企画

## スキルレス、自動化、省力化で経営基盤を固める 創注のための基盤づくりを提案

コニカミノルタジャパン(株) & リコージャパン(株)

### ■ 巻頭言

#### 四国 Onsen 路 (オンセンロ)

— 香川県支部支部長 / ㈱シーアンドシーイシハラ 石原 靖昌

### ■ 新連載

#### 知ってるあなたはジャグラ通 その巻

### ■ 連載

#### 業態進化のすすめ⑧

マーケティング課題を解決するMarketing Cockpit のご紹介

### ■ NEWSとお知らせ

『印刷屋さんのお仕事展』を初開催  
秋田県豪雨被害状況と対策報告



## CONTENTS

### ■ 巻頭言

- 1 四国Onsen路 (オンセンロ)  
香川県支部支部長/有)シーアンドシーイシハラ 石原 靖昌

### ■ 巻頭企画

- 2 生産性向上委員会  
スキルレス、自動化、省力化で経営基盤を固める  
創注のための基盤づくりを提案  
コニカミノルタジャパン(株) & リコージャパン(株)

### ■ 新連載

- 8 知ってるあなたはジャグラ通 その巻

### ■ 連載

- 22 業態進化のすすめ⑧  
～新技術を取り込み強い会社になろう～  
マーケティング課題を解決するMarketing Cockpit のご紹介

### ■ NEWSとお知らせ

- 7 『印刷屋さんのお仕事展』を初開催  
10 JPA後援会会員募集中!  
11 ジャグラBBホットニュース  
17 理事会報告  
20 JIPDEC・ITR『企業IT利活用動向調査2023』速報結果より  
25 業界の動き  
秋田県支部・神奈川県支部・栃木県支部 総会開催  
鹿児島県支部 教育研修会  
短信ほか  
27 秋田県豪雨被害状況と対策報告  
28 ジャグラ緊急連絡網  
19 雑学コラム⑧ 29 事務局日誌と今後の予定

- 12 ホリゾン・ジャパン(株)  
13 富士フィルムグラフィックソリューションズ(株)  
14 (株)小森コーポレーション  
15 (株)ショーワ  
16 東京リスマチック(株)  
19 (株)研美社  
表4 リョービ MHI グラフィックテクノロジー(株)

## 月刊グラフィックサービス 発行趣意

月刊『グラフィックサービス』は、一般社団法人日本グラフィックサービス工業会会員、関係諸団体およびすべてのステークホルダーの皆様へ、自社の質的向上に役立ち、知恵と勇気を分かち合うことを目指し発行するものです。

本会の存在意義である人間交流スペースを構築し、社会の多様な要請にタイムリーに対応しつつ、共通の経営課題を持つ会員をネットワーク化し、その交流を積極的に支援するとともに小さいことでも有利となる経営施策も発信する情報ターミナルとなることを理想とします。

またその情報発信手段は誌面にとどまらず、環境に応じて多様な発信方法を検討、遂行することを責務とします。

#### 【概要】

|      |                                    |      |                      |
|------|------------------------------------|------|----------------------|
| 発行回数 | 月1回/年間12回                          | 配布方法 | ・全会員へ直接郵送            |
| 購読料  | ジャグラ会員は無償(会費に含む)<br>・希望企業、団体への有償配布 |      | ・ジャグラホームページからのダウンロード |

本誌へのご意見・ご要望・記事提供は下記宛お寄せください

Eメール [edit@jagra.or.jp](mailto:edit@jagra.or.jp) 電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006

お手紙 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 〒103-0001 (一社)日本グラフィックサービス工業会 宛

# 四国 Onsen 路 (オンセンロ)

香川県支部支部長/有)シーアンドシーイシハラ 石原 靖昌



みなさんこんにちは  
香川県支部の石原と申します。

支部活動の近況報告として、7月に例会・勉強会・親睦ビアガーデンを開きました。勉強会では、税理士による「お得なふるさと納税制度、電子帳簿保存法、インボイス制度第2弾」を分かり易く説明して頂きました。あっという間に予定時間の90分が経ちました。また、高知県支部から西村さんと三宮さんが高知大会のお礼に来てくれました。その後はホテルのスカイラウンジで親睦会です。まだまだ続く暑さに会員皆で暑気払いをしました。

私は人に話すような趣味は無いのですが、今我が家でブームなのが、お遍路ならぬ Onsen 路と銘打っての温泉巡りです。

四国と言えば、道後温泉が有名ですが私が巡っているのは、四国の地元しか知らないコミュニティ温泉です。

四国四県日帰りで行ける温泉を巡って入浴の後、地元産直市に寄って夕食の食材を買います。これが我が家の四国 Onsen 路です。

温泉巡りは、入浴のタイミングが重要です。午後になると地元の人が多くて銭湯のようなので、なるべく午前を狙って行きます。特に昼時を狙います。何故なら昼食で温泉が空いているからです。

また、温泉の主のような地元の人が、常連の人と会話しているのも聞き耳立てていると面白いです。

記憶に残る大変な温泉は、徳島の神山温泉に行った時のことです。行きは徳島市内経由で安全なルートなので問題なかったのですが、帰りにナビの国道193号山越えルートを選択したことが事の始まりでした。

国道なので広くて安全な路と思いきや、国道でもこちらは酷道でした。ナビの指示通りに進むに連れて、だんだん山奥に入っていく、上り坂を進んでいくと、つづら折りの路でもとても狭く対向車を交わせなくなってきました。標高も高く路の端は崖で、ガードレール、道路灯も無く、木々が生い茂って薄暗い路、標識も無く不安が募り、民家も無く、猿、猪、山賊がいつ出てきてもおかしくない雰囲気でした。峠越えの間に対向車は2台しか有りませんでした。



勉強会



高知支部お礼

こんな路は絶対に夜には走りたくない路です。

行けどもゆけども、曲がりくねって上がっていくばかり、やっとの思いで倉羅峠(くららとうげ)近くに着いたら視界が開け、下界を一望できる絶景が目飛び込んできました。今までの不安も吹き飛びました。

温泉に入ってゆったりした気分もどうなることやらと思いつつ車を走らせてきたけど、こんな状況でも温泉でゆったりとしたのか、子どもはとなりで熟睡でした。

後でネットで国道193号を調べたら、高松市と徳島県の南端に位置する海陽町を南北に結ぶ路線で半分以上の区間が酷道になっていて、四国を代表する“酷道”の一つとして知られている国道でした。倉羅峠、土須峠、霧越峠と次々と酷道での峠越えを強いられます。しかもいずれも峠越えも離合困難な場所が多い、屈指の難易度を誇ります。

因みに倉羅峠、別名は経ノ坂峠(きょうのさかとうげ)は、標高770mで経ノ坂峠の名の由来は弘法大師(空海)が修行中にこの峠で経を唱えていたという伝承であり、道路沿いに弘法大師尊像があり、この像はかつて旧道にあったが、1978年に現道が開通した後、旧道の人通りが少なくなってしまうため、1985年に現在地に移転させたものである。像の移転と同時に、この経緯を記した「経の坂大師由来」石碑も建てられている。

調べたらある意味歴史のある路だと分かった。

しかし、先に調べていたら選択しなかった路かもと思っただけ、ネットでヒットするぐらいの酷道を半分走破出来たからまあいいかなと思いまし



倉羅峠

たが、次は峠越えルートは選択しません。

今度はもっと行き易い四国 Onsen

路巡りを

します。



# スキルレス、自動化、省力化 で経営基盤を固める

## 創注のための 基盤づくりを提案

コニカミノルタジャパン株式会社 & リコージャパン株式会社

ジャグラコンパクトDXのひとつである生産性向上委員会の活動開始から1年数か月、おおよその方向性とメーカー・ベンダー様に伴走していただくモデル企業の選定が進んでいる。委員会として目指しているのは、高知全国大会でも報告した通り『創注のための社長さんの働き方改革』であり、そのためにも生産現場のみならず会社全体の生産性向上につながるサービスの開発を進めている。

今回は、その中でもサービス提供開始目前まで進んでいる案件について、メーカー2社（コニカミノルタジャパン株式会社様・リコージャパン株式会社様）より報告していただく。どちらも印刷革新会での先行事例ではあるが、生産性向上という我々のコンセプトにも重なるということで今回の紹介となった。協力していただいた印刷革新会の皆様並びにメーカーの皆様には、改めて感謝申し上げます。

2社の事例とも、実際の業務運営を通してさらなる省人力を模索、さらにその先を見据えた取り組みとなっており、私たちにとっても大いにヒントとなる事例である。この記事を読んだ皆様がそれぞれジャグラコンパクトDXに取り組んでいただき、厳しい時代を生き残る糧となれば幸いである。

『当委員会が目指す生産性向上は、“スキルレス”“自動化”“属人化の排除”をキーワードとする。そして生産性向上により経営基盤を固め、創注に結び付ける。』

生産性向上委員会  
委員長 宮崎 真

### コニカミノルタジャパン株式会社 「自動化・効率化・見える化」 JP2023 出展から見た実用ワークフロー

昨年度からジャグラ事業の柱となる「ジャグラコンパクトDX」事業として「生産性向上委員会」、「MIS研究委員会」、「地域活性化委員会」、「業態進化委員会」の4つの委員会が活動を開始し、“創注”を大きなテーマに掲げてDX事業の具現化に向け活動している。

その中のひとつ「生産性向上委員会」は『“スキルレス”、“自動化”、“属人化の排除”をキーワードとして、生産性向上により経営基盤を固めて創注に結び付ける。』を活動方針としており、同委員会が目指す“印刷業におけるファクトリーオートメーション実現”に向けて、先般のJP2023・印刷DX展においても、様々なメーカー・ベンダーが新たなソリューションを展示・紹介していたので、「生産性向上委員会」から見たJP2023・印刷DX展を振り返ってみる。

その中でも、コニカミノルタジャパンが提案していた、異なるメーカー・ベンダーのシステム機器を、JDFを活用して受注から面付・デジタル印刷・製本加工までの全印刷工程のフローをほぼ自動化した一気通貫システムの実機デモは毎回大盛況で来場者の関心も高く、まさに「生産性向上委員会」が目指す方向性と合致していたこともあり、ここではコニカミノルタジャパンのJP2023・印刷DX展の出展内容について考察してみる。

今年で47回目の開催となる「JP2023・印刷DX展」が、2023年5月18日（木）・19日（金）にインテックス大阪5号館で開催された。コロナ禍もようやく終息する兆しを見せているが急速に変化する社会環境の中で、印刷業界はDX（デジタルトランスフォーメーション）によってどう立ち向かっていくのか？今回のJP2023展は、その課題解決に向けた情報発信やビジネス交流の場となったようで、会場内も数年ぶりに活況が戻った感もあった。

本レポートでは、コニカミノルタとして国内初の技術展示となったインライン帯掛けシステムなど、生産工程における自動化・効率化・見える化の提案に加え、印刷ジョブを生み出す創注関連のシステム群の展示や実機デモンストラーションの内容を中心に紹介する。

#### ■ AGENDA

1. JP2023・印刷DX展（JP展）概要
2. コニカミノルタが提案した6つの生産改善とは
3. 印刷業におけるファクトリーオートメーション実現に向けて

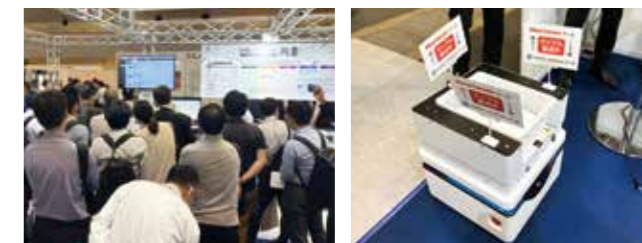
### JP2023・印刷DX展（JP展）概要

今年のJP2023・印刷DX展のテーマは、「変わる需要・変える供給」。JP展に“印刷DX展”という名称がついてからは3回目の開催となり、前回は上回る80社が出展。会期中は、印刷DXについて考察を深めるJP展主催者セミナーや会場見学ツアーが実施され、印刷現場におけるDXの導入方法から機材の自動化、生産性向上による収益アップなど多岐にわたる情報発信がなされていた。

主催者セミナーでは、コニカミノルタも印刷ビジネス全体におけるDX推進（受注～出荷、印刷ジョブを生み出す創注まで）について紹介した。

来場者は11,409名（2日間）で前回のJP2022より3,671名増え、出展規模は80社・185小間とこれも前回より増えて、名実ともに西日本最大の印刷関連機材総合展示会となった。

特にデジタル印刷工程の自動化に関する実機デモが行われていたブースには人だかりがで、生産工程の自動化に強い関心が集まっていたように感じた。またSDGsや環境対応に関する展示も多く、環境に配慮した用紙や印刷方式に関する展示も見られた。



コニカミノルタジャパンブース コニカミノルタのAMRを走らせたブース

### コニカミノルタが提案した6つの生産改善とは

「コニカミノルタ式生産改善」と題し、印刷会社が抱える様々な課題に対して、印刷工程（受注・プリプレス・出力管理・印刷・後加工）のDX化による生産改善について、次頁（図1）の通り6つのテーマで提案紹介した。

特にテーマ5の“印刷業におけるファクトリーオートメーション”は「生産性向上委員会」の目指す姿を具現化したモデルであり、実機を使った実演デモをしており非常に分かりやすかった。

勿論、デジタル印刷現場での生産性向上の提案だけではなく、営業の受注形態のDX化としてWeb to Printシステム「in 2 saite」を活用した創注につながる営業の生産性向上提案や、印刷工程の中で手段としてのデジタル化はいち早く進んだが、未だに管理手法はアナログが主流でブラックボックス化がより深刻になったプリプレス（制作・

| テーマ                        | ご提案する生産改善について   | 該当する印刷工程                         | DXを支援するコニカミノルタ製品  |
|----------------------------|---|----------------------------------|---|
| 1 デジタル印刷の新たな未来             | 印刷会社の生産プロセスの効率化から電力の抑制と原価低減を実施するオフセット印刷機との共存をご提案  | 印刷                               | AccurioJet KM-1e with HD  |
| 2 プリブレスの見える化と損益改善の実現       | 単品損益と生産工程の見える化、利益率改善から生産性向上の支援についてご提案   | プリブレス                            | AccurioPro Neostream ※2023年秋発売予定                                |
| 3 SDGs貢献へ！ 変化する顧客意識        | AccurioPressの素材から、製造工程、物流工程、製品利用時において排出されるCO2量の相当量を、他の場所での削減量で埋め合わせる新しい環境への取り組みをご紹介します                  | 印刷後加工                            | AccurioPress カーボンオフセットサービス                                      |
| 4 AIが可能な生産現場の「ムダ・ロス・矛盾」の改善 | 画像IoTのプラットフォーム「FORXAI」を活用した作業分析と、印刷機の稼働状況を可視化するAccurioPro Dashboardを組み合わせることで印刷工程の「ムダ・ロス・矛盾」の改善策をご紹介します | 印刷後加工                            | AccurioPro Dashboard Ultimate FORXAIと連携 ※技術展示                   |
| 5 印刷業におけるファクトリーオートメーション    | 人の手を介さず印刷工場を稼働させるプロセスとは。受注～出力、断裁、帯掛け工程を実現。加工後はホリゾンブースへAMRによる自動搬送を実施 ※技術展示                               | 受注<br>プリブレス<br>出力管理<br>印刷<br>後加工 | AccurioPro Flux Premium<br>AccurioPress C4080<br>TU510 ※他社製品と連携 |
| 6 印刷会社の販促手法を変化させるDX活用とは    | コロナ禍の2年間で、新規開拓・売上アップに成功したin2site活用術をご紹介します  | 受注                               | in2site   |

【コニカミノルタ式生産改善提案】(図1)

DTP) 部門の清流化と損益改善に役立つソリューション「AccurioPro Neostream」の紹介など、印刷業全体の生産性向上と創注、DX化の提案がなされていた。

### 印刷業におけるファクトリーオートメーションの実現に向けて

デジタル印刷の現場が抱える非効率な作業を減らすため、「自動化・効率化・見える化」をキーワードに、受注～出力、断裁、帯掛け工程のワークフロー改善に着目し、今回は株式会社 J SPIRITS の「PrintSapiens」、株式会社ホリゾンの「iCE LiNK」と JDF によるシステム連携を実装し、受注から出荷までを自動化できるワークフローを構築した実機によるデモンストレーションで紹介した。(図2)

具体的には、「PrintSapiens」より“仕上り B 5 サイズの無線綴じ製本印刷”の生産指示情報が JDF で発行され、「iCE LiNK」経由で「AccurioPro Flux」に面付情報と印刷指示が出され、デジタル印刷機「AccurioPress



【JDF連携により従来多くの時間を要していた印刷工程の自動化を実現】(図2)



断裁前の2面付け出力(図3)

帯掛け後(図4)

無線綴じ後(図5)

C4080) で A 3 サイズ用紙に 2 面付け印刷し(図3)、インライン断裁オプション装置(TU-510)で用紙断裁した後に、インラインでの帯掛け装置を活用して帯掛けしたブックブロック(冊子)状態の印刷物(図4)をホリゾンブースの製本加工機までAMR搬送機での自動搬送を行い、無線綴じ機への加工指示も JDF 連携を実施し無線綴じ製本(図5)加工する。用紙断裁から帯掛けまでを一貫してインラインで行うことで手作業となっていた工程の自動化を実現した。

また各工程の機器稼働実績など単品損益管理に必要な実績情報も MIS である「PrintSapiens」に自動的にフィードバックされるため、リアルタイム性の高い高精度な実績集計も可能になる。

「インライン帯掛けシステム」はコニカミノルタとして国内初の技術展示となり、実際にご覧いただいた方々からもご質問やご意見・感想も多数いただき、早期リリースを目指している。

以上のように、従来のオフセット印刷では対応が困難であった多品種・極小ロットのジョブにも対応でき、如何に人手をかけずに入口(受注)から出口(発送)までのスループットを早くできるかの課題にも対応できており、このワークフローを構築することで、「人的ミスや時間ロスの削減」「印刷業務の自動化・スキルレス化」「収益改善施策への貢献」を実現することが可能になる。

これまでは JDF 連携というハードルが高く、まだ実用レベルにないように思われているかも知れないが、この数年間で関連メーカー・ベンダーの協業も進み実用レベルには達してきており、実運用している印刷会社も多くなっている。また異なるメーカー・ベンダー間のシステム連携においても CSV や XML、API を活用した連携実績も増えてきており、JDF に拘ることもなく自動化・効率化・見える化による生産性向上を実現した成功事例も増えている。

繰り返しになるが、「生産性向上委員会」としても今回のワークフローをモデルケースの一つとして、印刷業におけるファクトリーオートメーションの実現に向けて、実用性の高いワークフローの提案や成功事例の紹介もしていきたいと考えている。

最後に、JP2023 展では多くの皆さまにコニカミノルタブースにお立ち寄りいただき、誠にありがとうございました。

引き続き、印刷会社の生産性向上や利益率改善、環境配慮など印刷ビジネスのDXを通じて印刷業界の発展に貢献してまいります。

コニカミノルタジャパンでは、印刷会社の経営課題解決やビジネス拡大、売上アップや業務効率化に役立つ最新情報を「つながるプリントラボ」としてご提供しており、下記情報サイトもご活用いただければ幸いです。

#### ◆「つながるプリントラボ」

<https://www.konicaminolta.jp/pr/printlab>

### リコージャパン株式会社

#### デュプロ精工と労働生産性向上のシステム開発 デジタル×自動化で工程短縮・多能工化促進

「2022年経済構造実態調査」によると印刷業の労働生産性(付加価値額÷従業員数)は913万円で、製造業全体の1,382万円に比べて低い数値に留まっています。仕様が異なるオーダーメイド型の受注形態で、他の製造業に比べて人手がかかる工程が多いためと考えられます。

人間の肉体的な処理能力を一気に2倍、3倍に上げることは困難です。無理をすれば働く人たちが疲弊しかねません。生産性向上の効果的な手法は、人手がかかる工程を減らすことです。2つの工程を1つにすれば労働生産性は確実に上がります。

工程を短縮する有効的な手段はデジタル技術の活用です。今年5月開催のJP2023印刷DX展で紹介した弊社のプロダクションプリンターと、デュプロ精工様の圧着DM加工機のインラインシステムは「印刷」と「圧着加工」を1つにしたもので、最低でも2人以上を必要していた工程の人員を1人に減らすことができます。単純計算で1人当たりの“稼ぎ”が倍になります。さらには特殊な技能を必要とせず、誰でも作業に携わることができ、かつ、印刷から加工までが自動化しているので、機械稼働中に他の業務を進めることが可能になります。

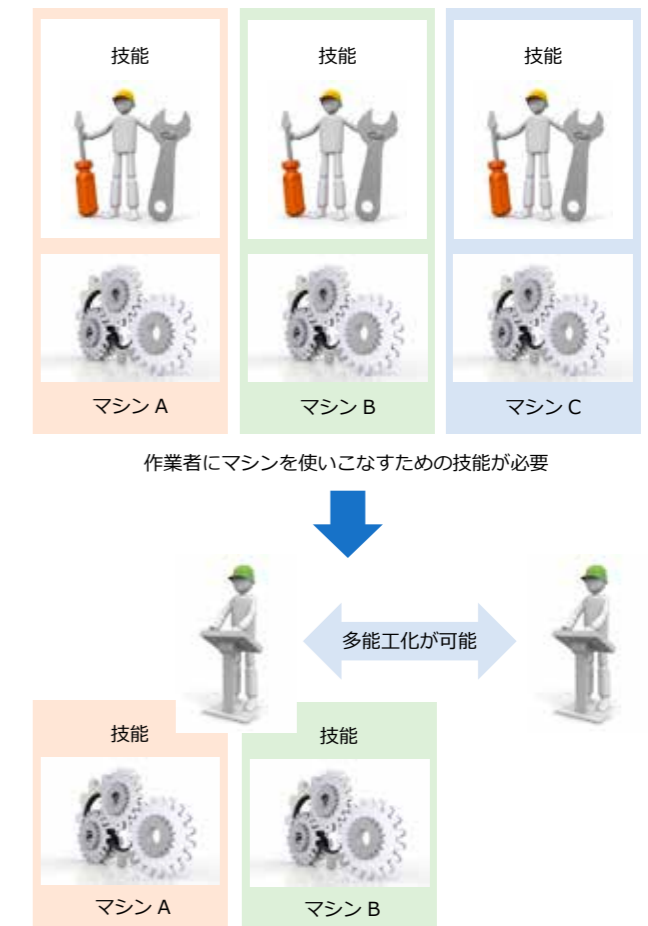
このインラインシステムでは、DMの印刷指示を出すとプロダクションプリンターで印刷し、ベルトコンベアで圧着加工機に運ばれ、糊がフチに噴射された後、折り、圧着されてデリバリー部に集積されます。プロダクションプリンターの制御は、もちろんデジタル技術を活用しますが、プロダクションプリンターと圧着加工機をインラインで連携させる技術にもデジタルが使われています。

工場におけるデジタル技術導入のメリットの一つは、覚える技能が少なくなり、多能工化がしやすくなる点です。オフセット印刷機でもDM圧着加工のインライン化は可

能かもしれませんが、稼働中に作業員による機械の監視や色味・見当などの調整を必要とします。絶えず機械を監視するので、作業員が他の業務に就くことはできません。また、色見や見当の調整や成否の判断には経験と技能を要します。誰にでもできる作業ではないため、“属人化”され、その機械を操れる作業員が急に病欠してしまったり、退職してしまったりすると業務が動かなくなる恐れがあります。

これまで属人化されていた技術が、システムとして組み込まれたデジタル機は、操作手法を身に着ける時間をほとんど要しません。圧着DMのインラインシステムは、プリンターに印刷指示を出せば成果物が得られます。色味や見当はマシンが調整します。圧着加工機も同様に作業員は容易にセットアップが可能です。高度な技能が不要で、誰でも操作できるため、“多能工”が可能で、機械の稼働中は他の仕事を掛け持ちすることもできます。複数のラインを同時に操作すれば、より労働生産性が向上します。

圧着DMのインラインシステムは、バリアブルDMの印刷・加工を想定しています。個人の嗜好に合わせて商品やサービスを提案するOne to Oneの用途も含まれており、その中にはセンシティブな個人情報が含まれることもあります。この場合、宛先と内容の不一致や、文字・数字の印字不良による誤認識などが起こらないよう紙面検査が



技能がマシンに組み込まれ、誰でも操作が可能で、複数の作業を掛け持ちできる

不可欠です。

しかし、印刷から圧着加工を自動化すると、印刷後の紙面を確認することはできません。そのため、圧着 DM のインラインシステムには、印刷した後、圧着する前に自動で紙面を確認する検査装置の装着を想定しています。これにより印刷～検査～加工の3つの工程を自動化するとともに、検査記録を保存することでトラブルが生じた際のエビデンスを残せます。

何よりバリアブル DM は、画一的な内容で配布する DM に比べて閲覧率が高いことが証明されており、付加価値の高いビジネスです。かつ、効率的に生産することができれば一層の稼働力の向上が期待できます。

### デジタル活用は目的達成の手段

圧着 DM のインラインシステムは、デジタル技術を利用した工程短縮の一つの事例です。印刷～圧着加工に限らず、デジタル技術で自動化できる余地は他の工程にもあります。工場以外にも、経営や管理、営業の部門を効率化する上でデジタル技術は有効です。

### 「生成 AI 時代の DX 推進に必要な人材・スキルの考え方」として、採るべき対応の取りまとめ

経済産業省はこのほど、デジタル時代の人材政策に関する検討会での議論を踏まえ、「生成 AI 時代の DX 推進に必要な人材・スキルの考え方」を取りまとめました。

#### (1) 生成 AI が社会にもたらすインパクト

- ・生成 AI はホワイトカラーの業務を中心に、生産性や付加価値の向上等に寄与し、大きなビジネス機会を引き出す可能性
- ・企業視点では、生成 AI の利用による DX 推進の後押しを期待、そのためには経営者のコミットメント、社内体制整備、社内教育の他、顧客価値の差別化を図るデザインスキル等が必要

#### (2) 生成 AI がデジタル人材育成やスキルに及ぼす影響

- ・人材育成と技術変化のスピードのミスマッチに留意し、その時々で環境変化をいわず主体的に学び続けること、そのための企業内での環境整備等が必要
- ・生成 AI を適切に使うスキル（プロンプトの習熟等）とともに、従来のスキル（戦略的思考、批判的考察力等）も引き続き重要
- ・自動化が進み「作業」が大幅に削減され、専門人材を含む人の役割がより創造性の高いものになり、人間ならではのクリエイティブなスキル（起業家精神等）やビジネス・デザインスキル等が重要

生成 AI の利用により業務が効率化されることで、社会人

デジタル技術は、情報の①蓄積、②可視化、③共有を可能にします。例えば、自動的に収集したシステムの稼働情報を蓄積して可視化することで、生産性の改善につながるデータを得ることができます。さらにそれを共有化することで、他の業務への応用を図ることができます。経営者はリアルタイムに現実を把握でき、将来的に数値に基づくデータドリブン経営への展開も見えてきます。

自動化による生産性の向上は、「頑張った社員の方々に還元してモチベーションを上げる」、「労働時間を短くしてワークライフバランスを整える」、「生産性向上で得た原資を新しい領域に投資し、さらなる成長を目指す」などの目的を達成するための手段です。ゴールを明確化することがスタートラインとなります。目的やそれに到達するための手段は各企業や部門によって異なります。

リコーは企業ビジョンとして「はたらくに」に歡びを掲げています。リコージャパンでは圧着 DM のインラインシステムに限らず、今後も印刷業の皆様個々の目的に寄り添いながら、印刷産業で働く方たちが幸せを感じて頂けるよう生産性向上につながるソリューションを提供して参りたいと思います。

が業務を通じて経験を蓄積する機会の減少を認識する必要

#### (3) 生成 AI 時代の DX 推進に必要な人材・スキル（リテラシーレベル）の考え方

1. マインド・スタンス（変化をいとわず学び続ける）やデジタルリテラシー（倫理、知識の体系的理解等）
2. 言語を使って対話する以上は必要となる、指示（プロンプト）の習熟、言語化の能力、対話力（日本語力含む）等
3. 経験を通じて培われる、「問いを立てる力」・「仮説を立てる力・検証する力」等

#### (4) 政策対応

- ・情報処理推進機構（IPA）において、生成 AI の登場や進化を踏まえた「デジタルスキル標準（DSS）」の改訂を実施
- ・デジタルスキルを身につけるための教育コンテンツを一元的に提示するポータルサイト「マナビDX」において、生成 AI の利用方法を学べる講座を追加掲載
- ・デジタル推進人材育成プログラム「マナビDX Quest」では、受講生が取り組む課題解決において、本年度から生成 AI を利用
- ・「情報処理技術者試験」のうち「IT パスポート試験」について、出題範囲のシラバスに生成 AI に関連する内容を追加するとともに、サンプル問題を公開

## 『印刷屋さんのお仕事展』を初開催 中小印刷業の技術、アイデアを一般に周知

8月20日、21日の両日、東京都中央区のアートはるみを会場に、令和4年度ジャグラ作品展の最終選考に残った優秀作80点を展示する『印刷屋さんのお仕事展』を開催しました。

十分な告知ができていない中、日曜日の午後にどれだけの方が来場されるか、全てが未知数でしたが、東京グラフィックスの青年部FACEメンバーがご家族と来場され、また別のギャラリー利用者の思いがけない立ち寄りもあり、想定以上の反響を得ることができました。来場された方、皆さん作品を一つひとつ手に取って見ながら、長時間滞在いただきました。

20日には、栃木県支部の高橋支部長（作品展委員会委員）が缶バッチの作成キットを持ち込み、来場されたご家族に缶バッチの制作体験を提供すると、子どもから大人まで自分で描いた絵が缶バッチになると非常に喜ばれました。

また、令和4年度作品展の開発・開拓部門で厚生労働大臣賞を受賞された菁文堂の谷山専務が会場で水に溶ける「もやちんノート」を実演したり、ジャグラBBにもアップされている昭和34年製作の「謄写印刷の技術」を上映するなど、ただの展示会ではなく、見て、体験できる設えで来場者の方をお出迎えしました。

さらに作品そのものの関心も高かったですが、一般向けの公開ということで今回、「小学生の夏休みの宿題セット」

というテーマで、お子さんにも分かりやすい表現で印刷物ができるまでの流れや、RGBとCMYKの違いをパネルで説明しました。

帰り際には、作品展委員会の黒沢委員長から寄贈いただいた残紙メモ帳をお土産として配ったところ、可愛い絵柄が描かれたメモ帳に喜びながらお持ち帰りいただきました。

今回、初の試みということで、改善点も見つけることができましたが、会場内で作品を写真に収め、時に作品の紙や制作方法について質問される方もいて、当初の目的以上に、印刷へ興味関心を頂戴する時間となりました。

引き続き来年度の開催に向け改めて準備を進めてまいります。会員の皆様におかれましては、令和5年度のジャグラ作品展にも多数の作品をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

また、支部など皆様の地域で『印刷屋さんのお仕事展』を開催してみたいというご要望ございましたら、事務局まで問い合わせください。

この場をお借りしまして、今回の展示会にご協力ご支援いただきました方々に感謝申し上げます。



# オンデマンドでもオフセットでも刷れない紙の印刷をお客さんから頼まれた時、どうする？

西村くん この和紙に印刷できるかな？



紙の周りがまっすぐではないので印刷機でもプリンターでも無理です。四方を切れば刷れるんですが…

えっ!? 印刷屋さんなのに無理なの？  
すでに100枚買ったのに…周りを切ったら意味がないし…

わかりました！自社では出来ませんが協力してくれる外注先を探してみます。少し待っててください。

心の声  
本当に大丈夫かな。せっかく買った紙が無駄になるかも。心配だな。

本当に大丈夫かな。わからんけど、  
きっとインターネットで調べたら出来るやろ。

さて、本当になんとかなるでしょうか



実はなんともならない事が増えています それはなぜ？

## ▶ 答え

この手の仕事に向いているのはシルクスクリーン印刷ですが、家内工業的規模の会社が全国で急速に減っているからです。現にこの原稿を書いている私の地元でも、長年お世話になっていたシルクスクリーン印刷屋さんが今年に入って廃業になりました。かと言って内製化する程の仕事量もありません。

シルクスクリーン印刷と言っても看板用など大型のものはデジタル機への置き換えも広まって、かえって成長分野として勝ち残っています。

ただ、冒頭の仕事はこの大型機の対応領域ではなく、出来ないことはないかもしれないけれど、実際には無理というパターンです。ならばインターネットで調べたら何とかなるかと言うと、これがなかなか難しいわけです。何世家業的な規模の会社が得意な分野ですから、インターネットでの発信もどちらかという苦手な訳で、私もほとんど困っていました。まあ、ネットで問い合わせても金額や納期の希望をお願いするのは難しいですから。

そんな時、スーパーマンのような救いの手が!!

## ▶▶ それはジャグラ大分県支部の有限会社文化プロセス



↑作業工場

①まず見積もりをお願いしたところ、今までより少し高い位でしたが、お客様のOKはもらえました。(実は初回だけ少し安くしてもらいました)

②次に持ち込み用紙を文化プロセスさんに発送。大分県ですので関西なら翌日着、関東以北でも中1日で届けられます。その間にメールで送った印刷データを版にしてもらいます。

結局、版を作るのに2・3日は必要ですので用紙の発送にかかる日数は問題になりません。そうするとその後、約1週間もかからない内に仕上がりが手元に届きました。しかもこれまでの品質よりキレイに印刷されてお客さんも大喜び。お陰様で2回目以降も順調です。



シルクスクリーンの版→



手すき和紙に印刷できました!

西村くんとの出会いは5年前のSPACE21のネクスト大分。ジャグラにも今回のご縁にも感謝。

## ▶▶▶ 知ってたあなたはジャグラ通

詳しくはジャグラ大分県支部  
有限会社文化プロセス 取締役社長 尾形 晴義 電話番号:0977-66-5005



人財育成への支援を通じて  
業界の「未来」を創る。

# JPA 後援会 会員募集中!

日本プリンティングアカデミー（略称 JPA）後援会は、次世代を担う印刷関連産業人の「教育」と「成長」の支援を目的とした会です。私たちは、印刷業界に特化した教育機関である JPA への支援を通して、印刷業界で活躍できる次世代の人財育成をサポートしています。また、本会が会員同士の新たなビジネスネットワークの構築・ビジネスモデルの創出のきっかけになればとも考えております。印刷業界の「未来」を創る＝人財育成の支援のために、ぜひ本会にご入会いただけますようお願い申し上げます。

日本プリンティングアカデミーとは?



1978年に、共同印刷株式会社をはじめとする業界関連企業からの支援で創立された、東京都認可の専門学校・Off-JT 教育機関です。創立より、「印刷業界の事業革新と社会的価値向上に貢献できる人財を育成する」を教育理念に掲げ、これまで約1,000名以上の卒業生を輩出しています。また、Off-JT 教育機関として年間200名を超える社員の研修も行っています。

## 役員紹介

### 「人材」を「人財」に

浅野 健 株式会社金羊社 取締役会長

JPAの伝統は、自ら学ぶ姿勢を身につけることを目指しているところにあります。現在、私たちは前例のない時代に置かれています。このような時には、単なる知識教育だけではどうにもなりません。自ら時代を振り返り、現在をどのようにとらえるか、真剣に、徹底的に考えることで、将来のイメージが浮かんでくるのではないのでしょうか。技術もマーケティングも同じことでしょう。「人材」を「人財」に磨き上げるきっかけを、JPAで経験して頂きたいのです。



作道 孝行  
作道印刷株式会社  
代表取締役社長

後援会  
副会長

岡本 泰  
株式会社クイックス  
代表取締役社長



後援会  
会長



## 幹事

- 岸 昌洋 (株式会社正文舎 代表取締役)
- 岡澤 誠 (有限会社中溝グラフィック 代表取締役)
- 藤田 良郎 (瞬報社写真印刷株式会社 代表取締役)
- 斎藤 誠 (川口印刷工業株式会社 代表取締役会長)
- 佐川 正純 (佐川印刷株式会社 代表取締役社長)
- 古賀 修二 (祥文社印刷株式会社 代表取締役会長)

顧問

花井 秀勝  
(JPA 理事長/フュージョン株式会社 代表取締役会長)

- 福田 和也 (誠伸商事株式会社 代表取締役社長)
- 田上 裕之 (株式会社笠間製本印刷 代表取締役社長)
- 日比野 信也 (株式会社文星閣 顧問)

## 会員

※6/12 現在

㈱小森コーポレーション 共同印刷㈱ ㈱モリサワ 富士フィルムグラフィックソリューションズ㈱ 三美印刷㈱ 共立速記印刷㈱  
滝澤新聞印刷㈱ サンメッセ㈱ (前山口印刷所 佐川印刷㈱ [京都] ハイデルベルグ・ジャパン㈱ 昭栄印刷㈱ ㈱博進紙器製作所  
㈱泰清紙器製作所 ㈱ニシキプリント リコージャパン㈱ ㈱T&K TOKA 東京インキ㈱ ㈱シンクグロー ジクス㈱ ㈱J SPIRITS  
CGS Japan ㈱ go-to-u ㈱佐久印刷所 ㈱日本 HP ㈱ワールドプリンター 他、個人会員 4名

## 年会費

個人会員 10,000 円

法人会員 30,000 円

## 入会特典

### 特別講演会・親睦会へのご招待

後援会が主催する、特別講演会および親睦会へご招待いたします。また今後、業界を支える後援会役員と会員の皆様は情報交換・つながりをもつことができるプラットフォームを提供予定です。

### JPA 主催セミナーの割引

JPA が主催する社員向けのセミナーが、特別価格でご利用いただけます。新入社員へ管理職向けまで企業の人財育成戦略に合わせた各種研修が受講可能です。※詳しい研修の詳細、金額についてはお問い合わせください。

入会に関するご質問・ご相談は電話もしくはメールにてご連絡ください。

電話 03-3811-2734 後援会事務局 中村まで 平日 9:00 ~ 17:00

メール koenkai@jpa.ac.jp ※件名に「JPA 後援会」とご記入ください。



右の QR コードを読み取っていただき、入会申込フォームに必要事項を入力の上、お申込みください。申込が確認でき次第、事務局よりご連絡いたします。



# HOT NEWS

## おすすめ番組情報

いますぐチェック!

ジャグラ BB | 🔍

広報委員会  
が選ぶ!

経営、営業、社内改革  
のヒントが満載!



### JP2023・印刷 DX 展 「特別対談・人が育ち 企業が変わる見える化」

JP2023・印刷 DX 展で開催されました「特別対談・人が育ち企業が変わる見える化」の様子はジャグラ BBでお届けいたします。

パネラー  
ジャグラ会長 岡本 泰氏  
(株)クイックス代表取締役  
作道 孝行氏  
作道印刷代表取締役  
進行役・コーディネーター  
花房 賢氏  
(公社)日本印刷技術協会

カテゴリー ▶ 経営 ▶ 企業経営



### 実は身近な技術「API」

カテゴリー ▶ 教育と技術 ▶ DX・総務経理・その他



### ビジネスパーソンのためのテクノ ロジー基礎講座 Vol.1 「API」

日々の仕事のなかで何気なく交わす会話に登場するテクノロジー用語について再確認しておきましょう。



### 9月は「印刷の月」

カテゴリー ▶ ニュース ▶ ジャグラ情報



### 映画「謄写印刷の技術」(昭和 34 年製作) ジャグラ60周年記念特別公開

ジャグラ 60 周年を記念して、映画「謄写印刷の技術」を公開します。昭和 34 年に製作された映画です。



# Horizon

Change the focus

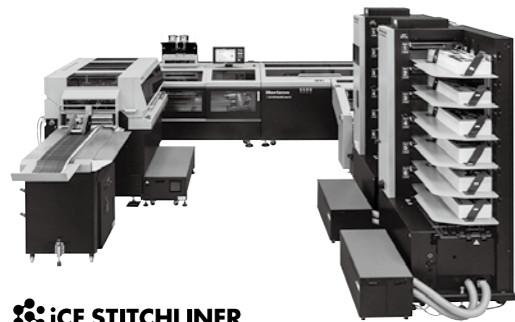
## Connected をキーワードに製本工程の自動化を実現します。

iCE Series は、お客様へさらなる高付加価値を提供することを目指した次世代型商品群です。ユーザーフレンドリーなインターフェースで作業性を向上させ、安定した生産性と自動化を高次元で追求しています。さらに、ワークフローシステム「iCE LiNK」との連携により、先進的な作業環境を構築できます。

### ペラ丁合鞍掛け中綴じ製本システム iCE STITCHLINER Mark IV

#### 自動化と製本品質の向上を追求

多品種少量生産に対応するために、全自動化することでセット替えの時間を極限まで短縮しました。筋入れ機構や突き揃え機構、折り部、針金の長さ調整、断裁前の位置調整など、各工程における高精度な調整と加工技術で高品質な製本を実現します。



iCE STITCHLINER

#### 無線綴じ機 BQ-500

#### 作業効率と製本品質が向上

セット替えの高速化により、小ロットや1冊ずつ厚さが異なるバリエーション製本時にも高い生産性を実現します。また、Horizon独自のデリバリー機構により、厚い自身のPUR製本においても背にゆがみのない高精度な仕上がりを実現します。



iCE BINDER

### 紙折機 AFV-566FKT / AFV-564FKT

#### 生産性と折り品質が向上

ナイフ折り時の最適な給紙間隔をリアルタイムに計測演算し、最高の処理速度を引き出すなど、ナイフストッパーの脱着作業を含めた様々な設定を自動化し、幅広いアプリケーションに迅速に対応します。



iCE FOLDER

#### 三方断裁機 HT-300

#### 高生産性と自動化を追求

一枚の断裁刃で天地、小口の三辺を断裁します。断裁前と断裁後の寸法をタッチパネルに入力することで設定が完了し、最高300サイクル/時で高生産性を実現します。冊子厚さの自動測定や、断裁角度の微調整など、自動調整機能により、精度の高い仕上がりを実現します。



iCE TRIMMER

fb.me/Horizon.sns

Horizon・ジャパン株式会社 [www.horizon.co.jp](http://www.horizon.co.jp)

本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F TEL.03-3863-5361(代) FAX.03-3863-5360  
東京支社 〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9 TEL.03-3652-7631(代) FAX.03-3652-8083  
京都支社 〒601-8206 京都府京都市南区久世大数町510 TEL.075-933-3060(代) FAX.075-933-4025  
福岡営業所 〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津4-12-17 TEL.092-626-8111(代) FAX.092-626-8112  
仙台サービスセンター 〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東1-7-31 TEL.022-782-2821(代) FAX.022-782-3068

FUJIFILM  
Value from Innovation

# お客さま一社一社の 変革ストーリーを、 共に紡ぐ。

生産環境のムダをなくすことで、経営資源に余力を生み出す。その余力を原資として、成長に向けた新たな一歩を踏み出す。富士フイルムは、「最適生産」を軸としたお客さまの企業変革を共に考え、共に推進し、「持続的な企業成長」へと導きます。



FUJIFILM

# 最適生産ソリューション

■最適生産ソリューションの詳細な情報はここから

FFGS 最適生産ソリューション



富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社

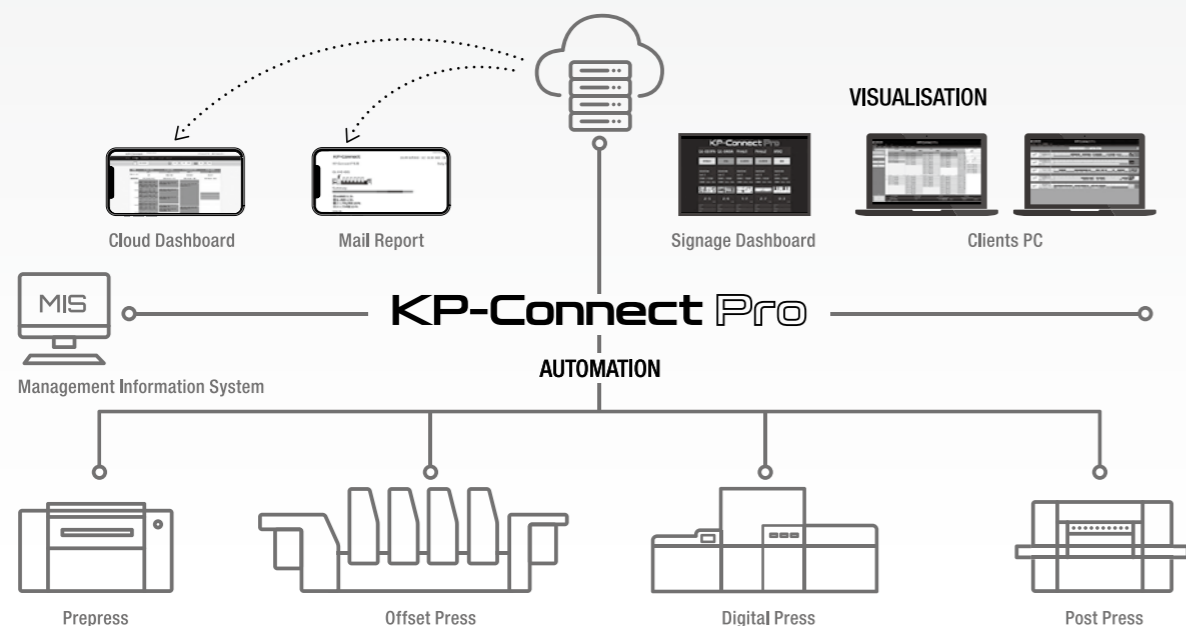
富士フイルム ビジネス イノベーションジャパン株式会社



KOMORI  
KP-Connect

## CONNECTED AUTOMATION

— 印刷DX 新しい世界への扉 —



「データの一元化」「見える化」「整流化」「自動化」



『KP-コネクトプロを軸に省人化・省力化技術を搭載した機械や生産システムをつなぐことで、お客様の生産性を極大化していく』概念です。オープンな環境を提供することで、業界の様々なメーカー・ベンダーと連携、共創していきます。高度な自動化機能を搭載した最新機リスロンGX/Gアドバンスモデルとの併用で、さらなる効果を発揮します。

MADE IN JAPAN WITH STATE-OF-THE-ART TECHNOLOGY

株式会社 小森コーポレーション

〒130-8666 東京都墨田区吾妻橋 3-11-1 TEL.03-5608-7806  
www.komori.comコネクテッド・オートメーション  
についての詳細はこちら<https://www.komorisolutions.com/ca/ja/>ユーザーサポート  
こそ商品

株式会社ショーワは、謄写版および付属品の販売と謄写印刷業の「昭和謄写堂」として、昭和3年に幅弓之助が創業しました。創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固なまでにこだわり続け、そのこだわりは創業から100年に向けて今なおショーワの社員一人一人にDNAとして脈々と受け継がれています。

長きに渡り、多くの取引先企業様より厚い信頼を寄せて頂けるのも、企業理念にもあります様にユーザーサポートという目に見えない、形のない「商品」だからこそ、付加価値を創造し続け、溢れる情報、市場状況を正確に分析・判断しうる知識とユーザーサイドで常に物事を考える「誠意」が評価して頂けているものと考えています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

## 21世紀のグラフィックアーツを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション&amp;リサーチ

ユーザー会で密に情報交換

SHOWA会

年間活動

- 研修会 ○工場見学 ○総会・幹事会
- 会報・メールマガジンの発行 ○有志グループ活動

問い合わせ、入会お申込みは事務局まで

SHOWA会事務局 TEL.03-3263-6141 FAX.03-3263-6149



株式会社

プリントメディアの総合商社

<http://www.showa-corp.jp/>

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2丁目7番8号 TEL 03-3263-6141(代) FAX 03-3263-6149

# TOKYO QUALITY.

すべてのSPコミュニケーションに最良の品質を。



東京リスマチック株式会社

なんでも相談窓口  
プリントデスク ☎ 0120-269-132

平日(月~金) 9:00~17:00 E-mail: support@lithmatic.co.jp



Lithmatic  
http://www.lithmatic.net

## 7.21 第2回理事会を開催

ジャグラは令和5年7月21日、リコージャパンのプリンティングイノベーションセンターで第59年度・第2回理事会を開催した。

議事に質問・意見を諮ったところ、他に発言はなく満場一致で承認した。

### 第一号議案 役員の派遣・スケジュールに関する件

省略(巻末スケジュールをご参照ください)

### 第二号議案 事業と役割分担の件

令和4年度~令和5年の事業と役割分担について、委員の追加・変更があった。

- ◎生産性向上委員会 森勇治委員(小森コーポレーション)
- ◎MIS研究委員会 遠藤康仁委員(リコージャパン)
- ◎地域活性化委員会 安達睦男委員(大分県支部)
- ◎業態進化委員会 水谷元泰委員(愛知県支部)  
木戸敏雄委員(東京・新宿支部)
- ◎DTP教室運営委員会 平原真敬委員(東京・文京支部)  
児玉年史委員(東京・城西支部)

また、DX事業関連委員会は委員として参加する人数を1社1名とした。委員から外れた方はオブザーバーとして参加する。

### 第三号議案 地協活動支援金規定の件【承認事項】

地方協議会活動支援金規程を見直し、事前申請のみ受け付ける。

#### 《検討の経緯》

- ・講師謝礼は必ず領収書を取るよう徹底して欲しい。
- ・総会、監事会にも使用できるのか? →会場設営費を含めて10万まで可能。
- ・支部の行事であっても地協からであれば申請が可能。あくまで地協を活性化する事業なのでセミナーの場合はできるだけ多くの人に参加するように努力して欲しい。
- ・支援金を使わない地協がある場合は、他の地協に回すことはできないか? →できない。
- ・地協で合同の事業を行う場合は、合同での申請は可能か? →合同申請は可能。

### 第四号議案 日印産連表彰の件

(一社)日本印刷産業連合会が9月13日に開催する「印刷文化典」で表彰を行う。ジャグラから以下の方を推薦したい。

#### □印刷功労賞

- ①印刷産業界において団体運営を通じて印刷産業の発展向上に寄与した者
- ②その他、前項に準ずる者  
○熊谷 正司氏(秋田)

#### □印刷振興賞

- ①業務の進歩改善に著しく貢献若しくは特に技術優秀な者又は優れた発明考案をした者
- ②多年に亘り後進の指導並びに業界指導に貢献した者
- ③その他前項に準ずる者  
○池邊 寛氏(大分)  
○樋貝 浩久氏(山梨)

#### 《検討の経緯》

議場に質問・意見を諮ったところ、他に発言はなく満場一致で承認した。

### 第五号議案 7月16日秋田大雨被害の件

7月16日に秋田県で発生した大雨により被害が出ている。災害見舞金の件について検討を行った。直近で支払いが発生したのは、今年5月に石川県支部で起きた地震被害で5万円を支出した。今回の被害は秋田県支部の2社であった。(詳細は別途、秋田大雨被害報告を参照ください) 検討の結果 基本5万円、最大1社あたり10万円とする。但し、1災害1支部あたり30万円を限度とする。見舞金の額は支部長に相談の上、危機管理委員会(=正副会長会議)が決定する。これをもとに「事故見舞金規程」の改訂を行う。秋田県支部に対しては15万円支給する(東海林印刷10万、アイネックス5万とする)

《検討の経緯》

議場に質問・意見を諮ったところ、他に発言はなく満場一致で承認した。

第六号議案 その他に関する件

(1) 9月13日理事会の時間変更について

当初13:00開始予定であったが、日印産連式典のスタートが14:45であるため、理事会を12:00～14:00で開催する。会場はジャグラ会館で行い昼食を用意する。(Zoomを併用する) また、式典終了後(17:45)、受賞者を祝う会を開催する。

(2) 印刷屋さんのお仕事展

8月20日～21日にかけて月島社会教育会館「アートはるみ」で「印刷屋さんのお仕事展」を開催する。ターゲットは一般消費者で特に夏休みの自由研究の課題を探している小学生を対象に考えている。作品展の入賞作品80点を展示する。臨時企画のため、予算10万円以内で実施する。

(3) モリサワからの提案

モリサワから組版教室の講師を無償提供する申し出があった。DTP教室の新メニューとして開催し、組版技術の資格認定制度に繋げていきたい。

(4) 雇用環境整備事業について

技能実習制度の見直しと合わせて将来的に人手不足が予想されるため、外国人労働者は取り合いになる可能性がある。(株)リョービMHIグラフィックテクノロジーが中心となって昨年立ち上げたコンソーシアム(CSPI)メンバーの中に、介護系の人材育成派遣を業務とする会社が参加しており、RMGTと日本語教育も含め印刷人材を育てて日本に送り込む計画がある。ジャグラとの連携も視野に、将来を見据えて情報収集を行う。原田副会長、田中専務がRMGT、キャレオスパートナーズと共に、10月にバリ島のキャレオスが運営する日本語学校を視察予定。それに先立ち、会員に外国人雇用についてアンケート調査を実施する。

(5) 下請け取引適正化

日印産連では下請適正取引マニュアルの最新版を作成している。

(6) 広島大会の進捗状況

2024年6月22日にリーガロイヤルホテル広島で総会と文化典を開催する。前日はゴルフ大会、クルーズ船でウエルカムパーティを予定している。機関誌8月号に協賛広

告の申込書を同封する。早期割引は8月末までで、消費税込みの価格になっている。10月から開始するインボイス制度の対応について、実行委員会として情報収集している。

【監事総括：菅原監事】

地協活動支援金については地協を活発にするという目的できちんとした申請書を作成してほしい。正副会長会議の権限が大きいと認識した。秋田の大雨被害の件はこの機会に災害見舞金(事故見舞金)の規程を整備してほしい。あくまで見舞金であって共済金ではないので、気持ちが重要であり、基準としては1社5万円で10万円まで1支部あたり30万円を上限とすることが決まった。将来的には人手不足になることを見込んで技能制度を含め法整備が行われるため情報収集が必要。労働力不足など将来の課題について対処していきたい。

●出席

- 会 長：岡本 泰
- 副 会 長：熊谷 晴樹 中島 博 原田 大輔
- 神山 明彦 岡 達也 池邊 寛
- 専務理事：田中 良平
- 理 事：渡辺 辰美 伊東 邦彦 高橋 亮太
- 尾形 文貴 樋貝 浩久 齋藤 秀勝
- 鈴木 将人 稲満 信祐 中村 盟
- 中村 耀 笹岡 誠 笹井 靖夫
- 武川 優 黒沢 康憲 谷川 聡
- 松下 忠 杉本 浩康 山本 康彦
- 森 孝

監 事：菅原 正行

●欠席

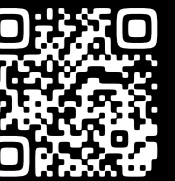
- 理 事：宮崎 真 本村 豪経
- 監 事：木原 庸裕 前沢 寿博

アプリもカードも

店舗集客を加速する顧客管理ツール

大阪本社 ☎06-6351-1766 📍大阪市都島区片町1-5-13 大手前センチュリービル5F  
 東京営業所 ☎03-6228-3900 📍東京都中央区八丁堀2-20-9 八丁堀FRONT1F

# 研美社



社長がたまに踊る Instagram



### 47都道府県のお話(その8:福岡県)

ジャグラ会報をご覧の皆様、こん〇〇は。ジャグラ東京・東

ジャグラ文京支部のアクティブ・野口です。

今回は広報委員会の委員長、本村さんのお膝元である福岡県

の事をつらつらと書いていこうかと思えます。

まあ正直ネタがありませんので、福岡県は(笑)。で、色々

考えました。その結果、今回のテーマは下記の通りに。

まず、ジャグラ会員の皆様の中にも旅行を趣味にされる方は

いらっしゃるでしょうし、旅番組を見るのが好き、という方も

いるでしょう。そんな旅番組の中で九州を中心に人気になっ

ている旅番組があるのをご存知でしょうか？

この時点で「ああ、アレか」という方は私と同じキッズの方

です。その番組の名前は「ゴリパラ見聞録」と云います。

う流れです。行く場所も千差万別、北は北海道から南は沖縄ま

で47都道府県全制覇しているレベル(因みに47か所目は秋

田県)です。

次の魅力は番組内で行われる「一献」です。基本この番組1

泊2日の行程である為、1日目の夜に「一献」という名の呑み

会が行われます。ここで出演者3人のリアルで人間味溢れる

(?)話し合いが見られます。時には酔いつぶれて寝ちゃう、と

かあって大笑いのシーンです。

最後は出演者3人のキャラクターです。ケチでネチネチ、で

も真面目で指導しだすと話が止まらないゴリけんさん、常に貧

乏でお酒に呑まれ、いきなり泣き出すけど憎めない斎藤優さん、

3人の中では1番の常識人に見えて何も知らないイノセントな

矢野ペペさん。とにかく毎回ロクでもない珍道中ながら時には

涙も誘う構成が病みつきになっちゃいます。

この記事を見てちょっとでも興味を示された方がいたら公式

YouTubeがありますので是非ともご覧になってください。

中々手に入らないかもしれませんが総集編のDVD・BLボッ

クスも発売されています。

更にはCSのフジテレビONE、関東だとTVKとかでも放

送されています。これで九州以外の方も安心(笑)

閑話休題。今回はこの辺りで納めることにしましょう。今月

もお付き合い頂きありがとうございます。そしてお陰様で広報

委員全員のお膝元を尋ねることが出来ました。チラッとでも読

んで頂いた皆様には本当に感謝であります。

最後に今月の問題です。

問題：輸入のイメージが高い石油や天然ガス、実は少量ながら

も日本国内でも開発されています。ではその生産量の実

に7割を占める都道府県はどこでしょう？

(正解は29ページ)

# JIPDEC・ITR『企業IT利活用動向調査2023』速報結果より

電子契約利用は73.9%に増加。  
サービス選定時、44.6%がクラウドに関するセキュリティ認証取得状況を参照

(一財)日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)と(株)アイ・ティ・アール(ITR)は、国内企業1,022社のIT/情報セキュリティ責任者を対象に、今年1月、共同で『企業IT利活用動向調査2023』を実施しました。JIPDECの速報から同調査結果を紹介します。

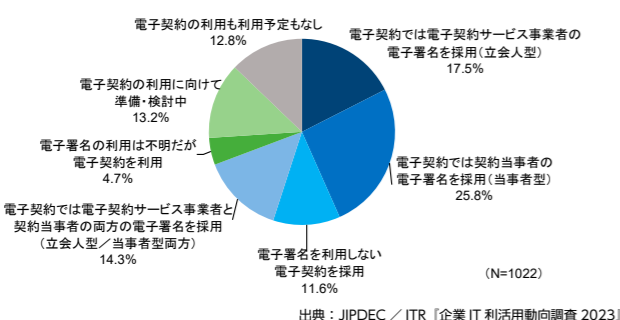
今回の調査結果のポイントは、次の7点があげられます。

- 電子契約の利用企業は前年の69.7%から73.9%に拡大。「立会人型と当事者型の両方を採用」している企業の割合が4ポイント増
- 電子契約サービス事業者の選定時、半数近くが「クラウドに関するセキュリティ認証」取得を参考
- インボイス制度の登録申請は65.6%が「提出済み」、「提出予定」を含めると88.6%に上る
- テレワークを「導入している」割合は、前年の72.7%から72.1%に微減
- デジタルトランスフォーメーション(DX)の目的は、「コスト削減」と業務効率化に重点
- 個人情報保護の取り組みは、「社員教育」が57.6%で最多
- 重視する経営課題は、「従業員の働き方改革」が2年連続で増加

## 電子契約の利用企業は、前年から増加し73.9%に

電子契約を「利用している」企業は、前年の69.7%から73.9%に拡大しました。なかでも、「立会人型と当事者型の両方を採用している」企業の割合が4.3ポイント増と最も増えました。

図1. 電子契約の利用状況

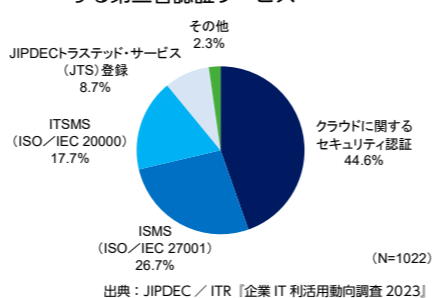


## 電子契約サービス事業者の選定時、半数近くが「クラウドに関するセキュリティ認証」取得を参考

利用が拡大している電子契約においてサービス事業者を選定する際に、参考にする第三者認証サービスは、「クラウドに関するセキュリティ認証」が44.6%を占め、他の認証サービスに大きく差をつけました。

なお、電子契約事業者の選定時に重視するポイントとしては、「第三者認証・認定の取得」が41.5%に上り、「サービスのコスト」48.6%の次に高い割合となりました。

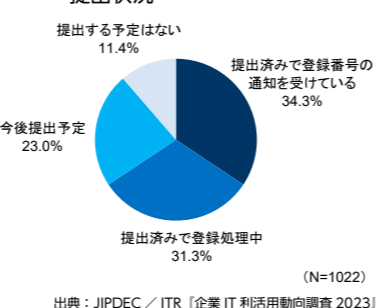
図2. 電子契約サービス事業者選定時に参考にする第三者認証サービス



## インボイス制度の登録申請は65.6%が「提出済み」、「提出予定」を含めると88.6%に上る

2023年10月から導入されるインボイス制度に対応するため、34.3%が適格請求書発行事業者として「登録申請書を提出し、すでに登録番号の通知を受けている」ことがわかりました。これに「提出済みで登録処理中」とする31.3%を合わせると、65.6%が提出済みとなりました。「今後提出予定」(23.0%)まで含めれば、88.6%に上りました。

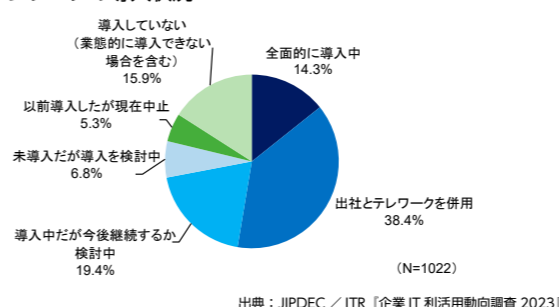
図3. インボイス制度の登録申請書の提出状況



## テレワークを「導入している」割合は、前年の72.7%から72.1%に微減

企業の勤務形態としてテレワークを「現在導入している」企業は、前年の72.7%から微減して72.1%となりました。「全面的に導入中」である企業は14.3%で、最多は「出社とテレワークを併用」している企業で4割弱を占めました。

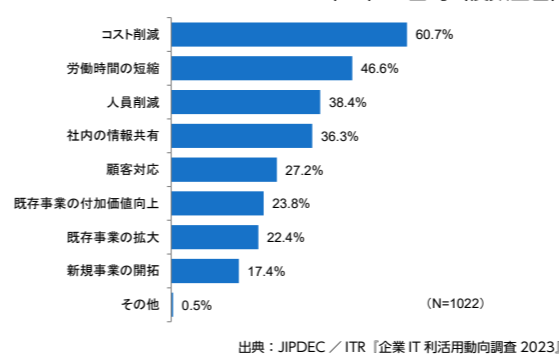
図4. テレワークの導入状況



## デジタルトランスフォーメーション(DX)の目的は、「コスト削減」と業務効率化に重点

近年、企業の取り組みが進展しているデジタルトランスフォーメーション(DX)の目的としては、「コスト削減」(60.7%)が最も多く、これに、「労働時間の短縮」(46.6%)および「人員削減」(38.4%)が続きました。一方、「既存事業の拡大」や「新規事業の開拓」は2割前後にとどまっております。

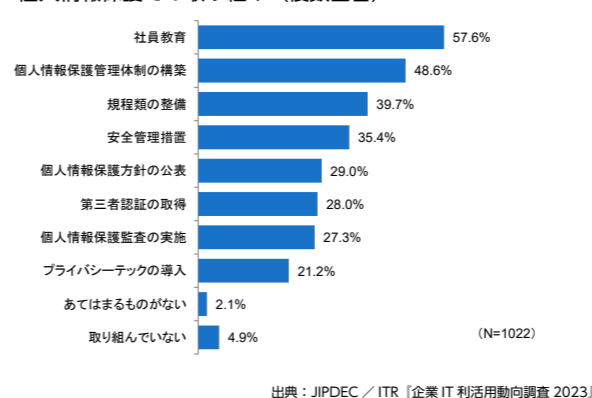
図5. デジタルトランスフォーメーション(DX)の目的(複数回答)



## 個人情報保護の取り組みは、「社員教育」が57.6%で最多

個人情報保護のための企業の取り組みとしては、「社員教育」が57.6%で最も多く、「個人情報保護管理体制の構築」(48.6%)と「規程類の整備」(39.7%)が続きました。

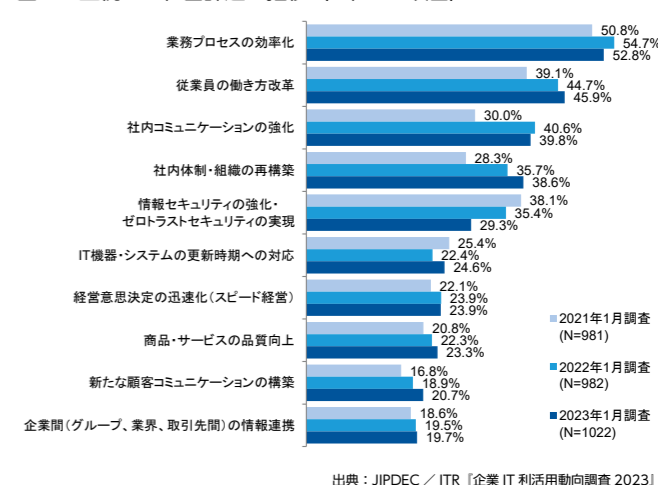
図6. 個人情報保護での取り組み(複数回答)



## 重視する経営課題は、「従業員の働き方改革」が2年連続で増加

重視する経営課題としては、「業務プロセスの効率化」(52.8%)が上位に上がり、特に後者は2年連続で増加しました。また、今回は「社内体制・組織の再構築」をあげた企業が前回と比べ最も増加しました。

図7. 重視する経営課題の推移(上位10項目)



調査結果を受けて、ITRのコンサルティング・フェローである藤俊満氏は「コロナ禍を機に利用が拡大したテレワークとクラウドサービスは、現在多くの企業で定着しつつあります。これを背景に、企業が重視する経営課題では、『業務プロセスの効率化』と『従業員の働き方改革』が引き続き上位に上がりました。2023年10月施行のインボイス制度への登録申請については、2023年1月の調査時点ですでに約6割強の企業が申請を終えており、提出予定を含めると約9割に上ることが確認できました。個人情報保護の取り組みでは、『社員教育』が重視されました。本調査では電子契約の利用企業は7割超を占め、電子契約サービス事業者の選定では『クラウドに関するセキュリティ認証の取得』が重視されていることが明らかとなりました。これらの動きを受けて、従来の境界防御型セキュリティ機器が減少に転じ、代わってゼロトラストアーキテクチャ型セキュリティサービスが増加し、セキュリティアーキテクチャの転換期を迎えているといえます」とコメントしています。

一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)

『企業IT利活用動向調査2023』

<https://www.jipdec.or.jp/news/pressrelease/20230316.html>

# ジャグラコンパクト DX 業態進化のすすめ～新技術を取り込み強い会社になろう～

## 【第八回】 印刷会社様と共にクライアントの Marketing DX を 提案・実現(マーケティング課題を解決)する Marketing Cockpit のご紹介



導入難度：松

業態進化委員会はジャグラコンパクト DX の中でも「印刷業からグラフィックサービス業への転換」をメインテーマとし、「従業員数 10 人、年商 1 億円の会社が導入しやすい価格帯」を念頭に置き、最先端の事例やデジタルツールの可能性を追求していきます。印刷業界の先行き、将来像のヒントとなる事例を集め、印刷に拘らず、「創注」と「事業領域の拡大」を大きな柱とし、会員の皆様と情報を共有していきます。

必要となる費用や時間で松竹梅に分け、「①松＝研究・開発からスタートするツール」「②竹＝実践事例を交えたツール」「③梅＝すぐに使えるツール」を紹介していきますが、本連載では特に梅（一部竹）に分類されるツールを取り上げます。ツールは会社の能力強化、能力のバリエーション拡大により業態を進化させます。顧客にグラフィックサービス業の進化を感じてもらいながら、会員各社がそれぞれ小さなプラットフォームを構築し、顧客との関わり方をより進化させていければという思いで、委員一同、一丸となって取り組みます。是非お役立ていただければ幸いです。

業態進化委員会 委員長 中村 盟

産高は 2016 年の 1428 億円から 2020 年の 1212 億円と下落が続いています。商業印刷物の中で大ロット印刷の代表である折込広告費、特定顧客への郵送物であり比較的小ロットのダイレクトメール（以降、DM とする）の広告費の年度比較では、大ロット印刷の折込広告費が 40.9% 減少しているのに対して、小ロット印刷の DM は 9.4% の減少にとどまっています。さらに DM の中でも全顧客に対して同一内容の DM を送付するマス広告型 DM が減少しているのに対して、購買履歴などのデータに基づく One to One 型の DM は増加しています。このような統計情報からも商業印刷物の多品種・小ロット化が進んでいることが裏付けられています。



## 2. ブランドオーナーのマーケティング DX への取り組み

ブランドオーナーのマーケティング DX への取り組みは今も積極的に実施されています。各種デジタルマーケティングのツール (MA/CDP) やデータ可視化のための BI ツールを導入し、顧客データの取得や購買動向の分析、データの活用等を行い、マーケティング活動に対する変革への取り組みが進んでいます。この先もデジタル化が加速する事は間違いありません。印刷会社としては DX による業態変革により、世の中が大きく動く時流に乗っていきたくところです。

### 2-1. MA (マーケティングオートメーション) について

ブランドオーナーに導入される MA は主に E メール

発信や E メールから Web サイトへ訪問したユーザーの行動分析に活用されます。MA では個人情報を取り扱うため企業内での運用が徹底されます。規模の大きい企業ではデジタルマーケティング専門の部隊を作るケースもあります。デジタルの世界が当たり前の今のマーケターには IT スキルが求められ、仕事量も以前に比べて増加する傾向にあります。

### 2-2. データ分析について

マーケターはプランを立て、実行し、結果を確認し、更に新たな施策を打ち出します。次から次へと出てくる新商品のプロモーションも仕掛けなくてはなりません。終わりのない戦いの中、更にデジタル化によるデータの分析が加わることでマーケターの業務は忙殺されていきます。データ分析を行う専門家を置く企業もありますが、専任を抱えられるのは一部の大手企業に留まっているのが現状です。

### 2-3. 印刷物について

一時期はデジタルにシフトする事で紙を無くすという動きが加速していきました。しかし、紙メディアには情報がモノとして残るとい何物にも代えがたい特性があり、デジタルデバイスでは実現ができない価値があります。昨今では DM 大賞の入選作品にも多くみられるように、QR コードと連携し、自社の Web サイトへ誘導するための仕掛けとしての活用法が多くみられます。

### 2-4. Web サイト / アプリについて

デジタルマーケティングにおいて Web サイトとアプリは最も重要な位置づけになります。検索ワード、デジタル広告、QR コードにより自社の Web サイトやアプリへ顧客を誘引する事で最適な情報を伝え、売上を上げていきます。しかし、多額の広告費を使って Web サイトへ誘引しても Web サイトから直ぐに離脱されてしまっはどうでしょうか？

Web サイトは作れば終わりではなく作ってからの運用が大切なのです。「いつ」、「何処から」、「何のメディアで」、「何を經由してアクセスして来たのか」、「サイトの中で何処を見ているのか」、Web サイトの運営者は全てをデータとして可視化する事ができます。Web サイトの導線を分析し、改善していく事で販促効果の高い Web サイトに仕上がっていきます。ただし Web サイトは匿名性が高く静的なものであり、個人の嗜好に合わせて動的にサイトの内容を変える事は難しいと言われていました。もし、匿名で訪問した人のサイト内での行動に合わせてパーソナライズが出来ればどうでしょう？サイトの滞在時間は増え、売上貢献できるサイトになると思いませんか？

また、Web サイトの分析と改善をマーケターが担って

いる場合、マーケターの負荷はとて大きくなり、本来業務が回らないという声も多く聞かれます。

## 3. Marketing Cockpit について

富士フィルムビジネスイノベーションジャパンではマーケターの課題を解決し、企業の Marketing DX を実現するためのソリューションサービスとして「Marketing Cockpit」の提供を開始しています。

Marketing Cockpit はツールの提供ではなく、サービスとしての提供になります。

サービス提供の一例

- Web 解析士による月 1 回のサイト解析レポート 報告会開催
- 弊社所有ツールによる Web サイト上へのパーソナライズ施策の設置
- DM 発送対象顧客データのセグメンテーション

弊社 Web 解析士が Web サイトを解析した結果をレポートし、ブランドオーナーのマーケターが施策を考え、弊社がお客様 Web サイトに対し施策の設定を行います。お客様は判断と指示をするだけなので、Web 周辺の技術を覚える必要も、ツールを導入する必要も、専門の解析士や技術者を雇う必要もありません。Marketing Cockpit により最高の Web 施策を手に入れる事ができます。



例えば、Web サイトへの訪問者数はあまり変わらないのに 3 ヶ月連続で Web サイト経由の売上が落ちている状況だとしましょう。これらを改善する為には売上に繋がる導線を分析し改善を施し原因を究明していきます。

①導線をスムーズにするために、ポップアップバナーをセッし購入ページに閲覧者が流れるように誘導します (動的アプローチ)



②画像デザインや文言の善し悪しを確認するために、2つの画像をランダムに出し分け、A/Bテストを行い勝ちパターンを探します (A/Bテスト)



③会員の特性に合わせて表示するコンテンツを出し分けます (パーソナライズ)



④施策実施後の結果を確認し施策の効果を確認します

Webサイト構築業者に頼む必要がないので、無駄なコストを掛けずにテストをする事ができ、①~④を繰り返す事で優良なWebサイトへ改善することが可能になります。

マーケターにとっては伴走してくれるWeb解析士と技術者が居ると頼もしいものです。

既に導入いただいているお客様のサービス継続率は非常に高く、お客様にとって無くては困るサービスになっています。

### 3-1. Marketing Cockpit と印刷物との連携

昨今QRコードは当たり前のように使用されています。印刷物にQRコードを入れる事でWebサイトへの誘引を行い、どの印刷物からアクセスされたのかを分析し、施策の効果を測定する事ができます。

Marketing CockpitではWebサイトに誘引したいURLに対して複数のパラメーターを生成することが可能です。このパラメーター生成機能により、チラシやDMにユニークなQRコードを付ける事が可能になります。

つまり、どの紙メディアからアクセスされたのかを計測する事ができるようになるのです。DMに対して個人単位にパラメーターをセットすれば、誰がアクセスしたのかを把握する事も可能になります。また、アクセスだけでなく、何処を見たのか、何を購入したのか、何に関心を持っているのか等、行動を全て把握できるため紙の販促効果を測定する事が可能になります。

またQR経由でアクセスした時にだけ、ポップアップで個別のメッセージを出すなど、Webと紙によるハイブ

リッドな販促施策の展開が可能になります。

今の世の中がデジタル広告一辺倒かというそうではありません。iPhoneのCookie規制により、リターゲティング広告は昨年と比べて相当落ちている状況にあります。新規を獲得するためのデジタル広告の効果が薄れており、既存顧客のリピート率を上げる施策が重要視されています。その為、DMは広告費ランキングでも落ちない販促には欠かせない重要な印刷物になっています。

## 4. 印刷会社と Marketing Cockpit の連携

DMやチラシの発注者であるブランドオーナーからすると印刷物は一定品質が保たれていれば良く、目を引くデザインやギミック的な要素、更にはWebとの連携がどの様にして取れるのかが重要な要素となっています。また、ブランドオーナーによっては紙とWebの連携が出来るという事を知らない方も多いです。

ブランドオーナーが印刷会社の事をDM業者と呼んでいるケースをよく耳にします。そういう印刷会社はパートナーとして受け入れられていないのではないのでしょうか。ブランドオーナーと日々の会話を重ね、パートナーとして頼られる存在になる事が出来れば、印刷物の相談だけではなく、デザインや施策など様々な提案が可能になるのではないのでしょうか。

仮にMarketing Cockpitの章で述べた、Webサイトを軸としたデジタル施策のサービスとデザイン、印刷、販促施策の提案を組み合わせるとブランドオーナーに提案する事ができるとしたらどうでしょう？他社ではできない印刷サービスになるのではないのでしょうか？

Marketing Cockpitはクライアントであるブランドオーナーに対して印刷会社と共同提案する事が可能なサービスとなっています。印刷会社がフェイスとなりデザインや印刷やWebサイトの構築や販促施策までを提案し、富士フイルムビジネスイノベーションジャパンがMarketing Cockpitでブランドオーナーに伴走支援しWebサイト周辺を手厚くサポートする事が可能です。

印刷会社と富士フイルムビジネスイノベーションジャパンの協業によるシナジー効果が発揮されればブランドオーナーに対して真のパートナーとなれるのではないのでしょうか。

印刷業を世の中にとって価値ある産業とするために一緒に進んで参りましょう。

※ QRコードは㈱デンソーウェーブの登録商標です。

## 業界の動き

### ジャグラ

#### 濱乃家で支部総会開く 議案を満場一致で承認 秋田県支部

ジャグラ秋田県支部は7月14日(金)、秋田市の料亭・濱乃家で支部総会を開催しました。

×

松原巧支部長の挨拶に続き、議案が上程され、審議を行った結果、議案は満場一致で可決され、無事閉会し懇親会も大いに盛り上がりしました。(この2日後に大雨被害が発生しております、詳細は別頁)



秋田県支部の松原支部長



秋田支部総会

### ジャグラ

#### 研修会で最新デジタル機器を学ぶ eスポーツ、VR、動画編集を体験 鹿児島県支部

ジャグラ鹿児島県支部ならびに青年部の青印会による教育研修会が7月22日(土)に開催されました。研修会には県内外から9名が参加しました。

×

今回の研修は、「デジタル人材育成や地域課題解決の方法とは」と題し、令和5年4月にJR鹿児島中央駅の近くにオープンしたDigital Edutainment施設、「mirai JAPANNEXT PARK」にて鹿児島県初の最新デジタル機器を見学・体験していただきました。

この施設は、「黒豚しゃぶ鍋 八幡」など鹿児島市内に飲食店

4店舗を展開する小幡総業の小幡雅道社長が、「飲食以外にも目を向けたい」と鹿児島県eスポーツ連合・事務局長の松田知大氏らと提携して開業されました。

この研修会を開催するにあたり、本業とは全く異なる分野で開業し、運営する小幡社長の事例を見聞することで、厳しい現状を打破するための新たな可能性を模索検討するとともに、最新の機器やコンテンツに触れることが今後の業務の幅を広げる一助になるのではとの想いがありました。

最初に小幡社長からこの施設を立ち上げた動機や経緯、今後の展望等をお話いただき、次いでコントロールルームやライブストリーミングルーム、コミュニティスペース、10台設置された高性能ゲーミングPCスペース、98インチモニター備え付けの多目的スペースといった施設全体を見学しました。

その後、PCスペースにてeスポーツと動画編集を、多目的スペースにてVRを全員で体験しました。

研修会終了後、「黒豚しゃぶ鍋 八幡」にて新たに3名を加えて毎年恒例の暑気払いを行い、コロナ後の元気がない地方でもできる人材育成や業界の未来を見据えた交流を行いました。

今後も、研修や懇親にて積極的にスキルアップや交流を図り、より良い組織づくりに邁進していきます。

(寄稿：ナポリ印刷 池水様)



教育研修会参加者



ジャグラー

明るく、楽しいジャグラー神奈川  
露木支部長が続投  
神奈川県支部

ジャグラー神奈川県支部は7月28日、横浜市のロイヤルホールヨコハマで、第58回通常総会を開催し、原案通り議案を承認するとともに、任期満了に伴う役員改選で、新たな役員を選出しました。総会後の理事会で露木貴弘支部長の続投が承認されました。

×

露木支部長は総会の冒頭、コロナ禍の3年を振り返り、ようやく通常通りの総会が開催できたことに対する喜びをあらわにしました。

野毛印刷社の森下会長を議長に選出し、議事に入りました。決算、予算案について活発な意見を交わしながら、事業報告、決算報告、監査報告ならびに第59回事業計画案、収支予算案を原案通り承認しました。

ジャグラー神奈川県支部の令和5年度・6年度の役員は次の通りです。

- 支 部 長：露木 貴弘
- 副支部長：上澤 宏史、藤田 博之
- 専務理事：櫻井 薫
- 理 事：岡澤 誠、大見 弥生、福谷 英樹  
壺内千代美、久保田和光
- 監 事：山下 大、田安 周平

総会終了後の懇親会には、会員、関連業者だけでなく、東京グラフィックスの役員、関東協支部長らも参加。歌手の山ノ内洋子さんとキーボード奏者の川勝陽一さんによる演出で盛り上がり、ジャグラー文化典高知大会で発展功労賞を授与された岡澤誠前支部長の功績を改めて讃えるなど、限られた時間でしたが濃密な時間を過ごすことができました。



神奈川県支部の露木支部長

ジャグラー

交流深め、会のメリット感じられる活動を  
総会に併せて地元小旅行  
栃木県支部

ジャグラー栃木県支部は8月11日、宇都宮のチサンホテルで第64回定期総会を開催しました。

×

宮本副支部長の開会宣言に続き、高橋亮太支部長が「今日一日を有意義な時間になりたい」と挨拶し、議事に入りました。前年度は、Zoomを活用しながら理事会や他支部との合同セミナーを開催。地元印刷関連業との交流も引き続き行いました。新年度は、他県支部との合同セミナーや地元を知るための小旅行、県外会員等の視察などを企画し、支部会員同士の交流を深めながら会のメリットを伝えていく方針を打ち出しました。

総会終了後はジャグラー本部の田中専務が、ジャグラーコンパクトDX事業の勉強会を開き、生産性向上委員会、MIS研究委員会、地域活性化委員会、業態進化委員会の事業内容と進捗について説明がありました。支部会員のみの参加ということもあり、勉強会では具体的に各社の状況を共有しながら活発に意見が交換され、ジャグラーコンパクトDX事業への関心を高めることができました。

また、来賓として神奈川県支部の露木貴弘支部長も臨席いただき、総会前にオプションツアーと称して、市内にある大谷石採掘場周辺の観光地を巡り、昼には栃木県支部の井上総合印刷さんが運営する「そば倶楽部 稲荷山」で食事を取り、地元栃木県の魅力と地域活性の取り組みに触れました。



ジャグラー栃木県支部総会出席者  
(前列左が高橋支部長、右は井上総合印刷・井上社長、後列左から村田印刷・村田さん、ジャグラー田中専務、みやもと・宮本社長、神奈川県支部の露木支部長)

短 信

社名変更

SHITARA 設楽印刷機材(株) (設楽誠一社長) は6月26日付で、「株式会社 SHITARA」に社名を変更しました。

# 7.16秋田県豪雨で会員2社が浸水被害 被害状況と対策を報告



7月16日に秋田県で発生した大雨により会員企業にも被害が発生しました。ジャグラー本部は7月16日、危機管理対策委員会から秋田県支部に被害状況の確認を行った結果、7月20日時点で下記の被害状況の報告がありました。

これを受け、7月21日に開催された第2回理事会にて、災害見舞金の件について検討を行い、秋田県支部に対し、災害見舞引当金より15万円を支給することとなりました。

被害状況は次の通りです。

◇(株)東海林印刷

工場床上40cm、事務室什器ほぼ全損、POD生産機械ほぼ全損、車両5台全損、在庫商品、在庫資材被害あり  
会長の自宅床上40cm、一階は全壊状態  
社長の自宅床上50cm、一階半壊状態



東海林印刷の被害の様子

◇(株)アイネックス

店舗 床上浸水20cm  
店舗一部商品設備に被害あり

東海林印刷の東海林正豊社長は今回の浸水被害について「この度の弊社被災に伴い、全国の皆様からたくさんのご支援、声援を頂きましたこと、感謝申し上げます。正直、自社がここまで大きな水害に遭うと思っていませんでした。川の氾濫だけではなく、内水氾濫が重なったことが今回の被害拡大につながりました。水害に比較的危機感のない地域でも線状降水帯や極地豪雨に対し内水氾濫もリスクとして捉えた対策が必要だと改めて実感させられました」とBCPの見直す必要性を強調しています。

SPACE-21 が東海林印刷を慰問

SPACE-21 は、7月16日に発生した秋田県の豪雨によって、幹事を務める東海林印刷が被災したことを受け、8月1日、笹井靖夫代表幹事と小澤孝一郎副代表が同社を訪問し、東海林正豊監事に見舞金を手渡しました。



東海林幹事(左)、SPACE-21 笹井代表幹事(右)

# ジャグラ緊急連絡網

地震・大規模水害など緊急事態が発生したときの手順

- ① 身の安全確保、緊急避難、二次被害防止、安否確認（社員・家族・来訪者）
- ② 本部より支部長へ被害状況確認の要請
- ③ 会員から被害状況の連絡 → 支部長へ
- ④ 支部長が担当支部の被害状況を集約
- ⑤ 支部長による状況報告 → 地協会長へ
- ⑥ 地協会長による状況報告 → 本部で集約

## ジャグラ本部連絡先

**Tel 03-3667-2271 Fax 03-3661-9006**  
**E-mail jagra@jagra.or.jp**

- ◎状況を見ながら出来るだけ急いで連絡をするように心がけてください。支部長は日頃から支部会員とコンタクトを取り、携帯番号を把握しておきましょう。支部の緊急連絡網やLINEグループなどを整備しましょう。
- ◎お知らせいただく被害状況は、ジャグラ理事、地協会長、支部のみが共有するものです。第三者に漏らすようなことはありません。
- ◎本部が被災した場合は、別の支部（①近畿地協／②北海道支部・地協／③中国地協／④九州地協）の順で、会長指示のもと本部代行として災害対策本部を設置します。
- ◎災害用伝言ダイヤル（171）、災害用伝言板サービス（各社携帯メニューから）、災害用ブロードバンド伝言板（WEB171）なども活用してください。サービスにより、録音時間の制限や48時間で消去されるものがありますので複数の方法で対応するようにしてください。
- ◎万が一被災してしまった場合は、自治体ではボランティアなどの人的支援、救援物資輸送、災害復旧貸し付け、債務返済緩和等の措置が取られます。
- ◎メーカーでは被災した機械の無償修理や代替機の貸出しなどがあります。各自治体やメーカーにお問い合わせください。

※グラフィックサービス 2020年2月号掲載の緊急連絡網の再掲載です

## 事務局日誌と今後の予定

最新情報はHPでご確認ください

### 8月の事務局日誌

- 1日 生産性向上委員会 (Web会議)
- 2日 MIS研究委員会 (Web会議)  
広報委員会 (Web会議)
- 3日 日印産連 知的財産部会 (Web会議) → 田中専務
- 4日 作品展委員会 (Web会議)
- 8日 サステイナブル委員会 (Web会議)
- 9日 Pマーク現地審査 (長野) → 並木、今田、長野  
ジャグラコンテスト専門委員会 (Web会議)
- 10日 Pマーク現地審査 (山梨) → 並木、今田、長野
- 11日 ジャグラ栃木総会 → 田中専務
- 20日 印刷屋さんのお仕事展 (アートはるみ。～21日)
- 23日 Pマーク現地審査 (千葉) → 並木、今田
- 24日 正副会長会議 (Web会議)  
DTP教室運営委員会 (Web会議)
- 28日 SPACE-21 幹事会 (Web会議)
- 29日 Pマーク現地審査 (東京) → 長野
- 31日 地域活性化委員会 (Web会議)
- 31日 広報委員会 (Web会議)

### 9月のスケジュール

- 4日 業態進化委員会 (Web会議)
- 5日 Pマーク審査会・個人情報保護委員会 (本部)
- 6日 HOPE2023 (アクセスサッポロ、～7日)  
→ 岡本会長、原田副会長、中村理事、田中専務  
Pマーク現地審査 (福島) → 並木、今田
- 8日 SPACE-21 幹事会 (盛岡)  
サステイナブル委員会 (Web会議)
- 11日 Pマーク現地審査 (東京) → 田中
- 13日 MIS研究委員会 (Web会議)  
理事会 (ハイブリッド)  
日印産連・印刷文化典 (ホテルニューオータニ)
- 14日 Pマーク現地審査 (神奈川) → 並木、今田
- 15日 JIPDEC 記念式典 (東京) → 今田
- 20日 Pマーク現地審査 (神奈川) → 並木、今田
- 25日 日印産連・ステココミュ → 岡本会長、田中専務
- 26日 ジャグラコンテスト専門委員会 (Web会議)
- 29日 生産性向上委員会 (ニッケイビル)  
Pマーク現地審査 (兵庫) → 並木、今田

### 10月のスケジュール

- 4日 日印産連 知的財産部会 (Web会議) → 田中専務
- 5日 ジャグラコンテスト委員会 (Web会議)
- 7日 SPACE-21 全国協議会 (熊本) → 岡本会長、田中専務、今田
- 13日 全印文化典広島大会 (広島) → 岡本会長、田中専務
- 14日 ジャグラ文化典広島大会実行委員会 (広島) → 田中専務
- 18日 日印産連 環境大賞表彰 (東京) → 田中専務  
Pマーク審査会・個人情報保護委員会 (本部)
- 19日 委員長会議 (Web会議)
- 21日 関地協群馬大会 (群馬、22日) → 岡本会長、田中専務
- 30日 日印産連 環境推進部会 (Web会議) → 田中専務  
正副会長会議 (Web会議)

### 事・務・局・便・り

最近、自分が涙もろくなっていることに気が付きました。というのも甲子園を見ていると試合終了前から涙が溢れてきます。感動するのはもちろんですが、涙もろいのは肝臓が弱っている証拠だと耳にしたことがあります。9月には夏の疲れが出てくる時期。体調を崩しやすい季節でもあります。そんなときこそ、お酒もほどほどに楽しんで、美味しい食べ物とスポーツでリフレッシュしましょう！

長野

※「事務局便り」は本部事務局員が交替で執筆しています

**GS** No.862  
2023  
09

### 月刊「グラフィックサービス」862号

■発行日 令和5年9月10日 (毎月1回)  
 ■発行人 岡本 泰  
 ■編集人 本村 豪経  
 ■発行所  
 一般社団法人  
**日本グラフィックサービス工業会** 略称ジャグラ  
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16  
 電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006  
 ウェブ <https://www.jagra.or.jp/>



ジャグラは一般財団法人日本情報経済社会推進協会指定のプライバシーマーク指定審査機関です

■編集部宛メール [edit@jagra.or.jp](mailto:edit@jagra.or.jp)

◎企画: ジャグラ広報委員会

担当理事

神山 明彦 愛知・(株)カミヤマ / 副会長

委員長

本村 豪経 福岡・アイメディア(株) / 理事

委員

東海林正豊 秋田 / (株)東海林印刷  
 谷山 和也 東京 / 菁文堂(株)  
 野口 聡 東京 / (株)アクティブ  
 小澤孝一郎 山梨 / (株)オズプリンティング  
 安達 睦男 大分 / (株)舞鶴孔版  
 瀬尾 淳 広島 / (株)広瀬印刷  
 三宮 健司 高知 / (株)三宮印刷  
 佐藤 愛子 大分 / (株)クリエイツ.  
 西谷 毅 東京・文京  
 松谷 勝広 東京・文京  
 笹井 靖夫 東京・文京  
 田中 良平 専務理事  
 影山 史枝 外部委員 / (株)スイッチ

◎原稿・編集・校正

田中 良平 並木 清乃 阿部奈津子  
今田 豪 長野未奈美

以上、ジャグラ事務局

◎渉外 田中 良平 並木 清乃

◎広告

◎Web 阿部奈津子

◎動画 今田 豪

◎組版 (株)クリエイツ.

DTP = Adobe CC ほか  
フォント = モリサワ OTF / モリサワ BIZ+ ほか



※本誌の一部にユニバーサルデザインフォントを使用しています

◎製版 / 印刷 (西村膳写堂 (高知・高知支部))

RIP = FUJIFILM WORKFLOW xmf  
 CTP = Luxel T-6300 (自現:富士フィルム XP-1310R)  
 刷版 = FUJIFILM SURERIA XP-F  
 印刷機 = RYOBI 924D  
 インキ = 東洋インキ  
 用紙 = 三菱ニューVマットA判 57.5kg

Copyright 2023 JaGra

禁断引用

※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です  
 原則、TMや®マークは省略しています  
 ※乱丁 / 落丁本はお取り替えいたしません

【雑学コラムお題の答え】 新潟県



# RMGT-CSPI

## ともに創る印刷の未来



グラフィックサービス

GS No.862 2023.9

RMGT-CSPIが

SDGs達成をアシスト



印刷会社のSDGs達成のためのソリューションを提案、具現化するRMGT-CSPI。  
各分野の企業が連携し、お客さまに寄り添いながら課題を解決・サポートします。

